

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

平成30年12月19日

計画の名称	長岡市中心市街地地区整備計画												
計画の期間	平成30年度 ~ 平成34年度 (5年間)								重点配分対象の該当	○			
交付対象	長岡市												
計画の目標	<p>長岡市中心市街地活性化基本計画（第2期計画）におけるまちづくりの目標を実現し、多くの市民で賑わい市民の誰もが誇りをもてる中心市街地を創出する。</p> <p>長岡市中心市街地活性化基本計画（第2期計画）テーマ みんなが創るまちなかの価値 ~誰もが楽しみ安心できる場所、誰もがつながり育てるまち~</p> <p>目標</p> <p>長岡を代表し、まちの活力を牽引する 中心市街地が高質で先進的なサービスを生産・発信する場として長岡をリードし、市域全体の牽引役となる。</p> <p>多様な機能と多世代が集まる まちなかに不足する機能や市民ニーズの高い多様な機能を導入・強化し、子どもから高齢者まで多くの人が気軽に楽しみ交流できる場所づくりを行う。</p> <p>日常と非日常が交わり楽しむ 中心市街地全体が、さらに日常的に時間を過ごせる場所、魅力あふれる暮らしの場所となり、イベント等の非日常としても楽しめる場所づくりを行う。</p>												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	4,126	A	4,096	B	0	C	30	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0.72	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 平成28年度	中間目標値	最終目標値 平成35年度
1	中心市街地における一日あたりの歩行者通行量（人） 大手通りなど中心市街地主要16地点における一日あたり歩行者通行量の比較 従前値は平成28年10月の平日に実施した日交通量（13時間計測）	86282人	人	100000人
2	人づくり・学び・交流エリア（仮称）の年間利用者数（人） 移転前の市立図書館（互尊文庫）、社会実験中のN a D e C B A S E と移転後のまちなか図書館（仮称）、産学連携情報交流センター（仮称）年間利用者数の比較	51691人	人	140000人

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H30	H31	H32	H33	H34			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
都市再生整備計画事業	A10-001	都市再生	一般	長岡市	直接	長岡市	-	-	長岡市中心市街地地区都市再生整備計画事業(都市再構築戦略事業)	駐車場有効利用システム、地域生活基盤施設、高質空間形成施設、高次都市施設、中心拠点誘導施設 (90.5ha)	長岡市						4,096	2.21	策定済
											小計						4,096		
											合計						4,096		

C 効果促進事業																			
基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H30	H31	H32	H33	H34			
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
都市再生整備計画事業	C10-001	都市再生	一般	長岡市	直接	長岡市	-	-	多世代交流拠点整備検討 調査事業 ほか	効果分析調査	長岡市						26	-	
		調査によって事業化が図られた場合には、これまで中心市街地に不足していた都市的サービスの機能の強化が図られ、さらなるまちの賑わいを創出することが期待される。																	
	C10-002	都市再生	一般	長岡市	直接	長岡市	-	-	店ちか駐輪場設置社会実 験事業	社会実験	長岡市						4	-	
		社会実験により、来街者の利便性、安全性の向上を図る。今後放置自転車等に対応策の検討材料とする。																	
											小計						30		
											合計						30		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H30				
配分額 (a)	22				
計画別流用増 減額 (b)	0				
交付額 (c=a+b)	22				
前年度からの繰越額 (d)	0				
支払済額 (e)	22				
翌年度繰越額 (f)	0				
うち未契約繰越額(g)	0				
不用額 (h = c+d-e-f)	0				
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0				
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					